

の可能性があるので、それを考慮に入れるべきではないか、一段階目の推定では、トレンドを示す変数を入れるべきではないかといった提案があった。

## 第2報告：1973から2008年のデータを使った日本人の意識変容の研究

- ・非正規雇用は、社会保障における人的側面において、特に、介護・看護のための労働において重要であり、非正規雇用やニートの増加の背景として、若者の意識を研究することは重要である。
- ・太郎丸博先生は、NHK「日本人の意識」1973-2008のデータを使用し、日本人の意識がどのように変化したのか、また、その変化はコーホート交代によるのか、時代の変化によるのか、その他の要因の変化（高学歴化、労働力率の低下、経済成長）によるのかを明らかにすることを課題とした研究グループを組織している。
- ・本日の報告では、その中でも、性役割意識はなぜどのように変化したのかを中心に報告がなされた。問題意識として、欧米でも日本でも男女ともあらゆる世代で1970年代以降、ジェンダー平等主義が高まっているが、1990年代に入って伝統主義が強まっているとの報告もある。そこで、比較可能なデータでトレンドをつかむ必要がある。
- ・特に、日本で1990年代以降にトレンドやコーホートの効果に変化はあるか、あるとすれば、欧米との相違はなにか、また、高学歴化・女性労働力率増加の影響はどうなっているのか、若年層が特に保守化しているかといった点を、NHK「日本人の意識調査1973-2008」という、5年おきに16歳以上の日本国民から層化無作為2段階抽出で面接調査されたデータを用いて分析していた。制約として、年齢が5歳刻み、収入の情報がない、仕事や配偶者の情報がわずかという制約があるという点に注意が必要である。
- ・アウトカムの変数として、父親が台所の手伝いや子供のおもりをすることへ賛成か、結婚した女性が職業を持ち続けることに賛成か、夫婦別姓へ賛成かを用いていた。記述統計による分析の結果、1. 1998年までは大きな個人変化がジェンダー平等主義を高めたが、それ以降は個人変化が激減または伝統主義化している。2. コーホート交代の効果は小さいが安定している。3. 高学歴化と女性労働力率上昇の効果はあるが、時代変化やコーホート変化への影響はわずかである。4. 総じて欧米の分析結果と似た結果が得られており、共通の要因が影響していると思われる。5. 1974年から1992年生まれは、1954年から1973年生まれと同じかそれよりも伝統主義化していることもわかった。
- ・同じデータを用いた余暇の分析でも1999年までは余暇志向は上昇していくが、新しいコーホートほど余暇志向は強いという結果が得られており、自己表出主義仮説と整合的な結果が得られている。
- ・フロアからは、バブル崩壊の結果、家族などの大切な人を守るようになったのではないかと、3世代同居が減ったことなどトレンドの効果があるのではないかと、社人研が実施している出生動向調査でも、2000年位を境に、意識において変化があるので整合的とのコメントがあった。また、提案として、専業主婦願望を分析するとよいのではないかとコメントがあった。

## 介護労働者と医療従事者（勤務医）に関する就業環境と就業意識

金子能宏\*・音山若穂\*\*

### 1. はじめに

社会保障給付の提供に関わる人々(福祉マンパワー)の確保定着に関連して、近年、地域別・分野別の人手不足や、介護分野での離職問題などを例として明らかになり、対策が採られ始めている(平成 18 年「医師の需給に関する検討会報告書」、平成 20 年「介護労働者の確保・定着等に関する研究会 中間取りまとめ」)。しかし、近年(2000 年代半ば以降)、失業率が 4~5%台で推移していることにみられるように労働市場にはミスマッチがあり、社会保障での雇用吸収が期待され、そのために社会保障に関わる職場で働く人々(労働者)の待遇改善は依然として重要な課題となっている。

高齢化の一層の進展に伴い、介護保険の利用者は 2010(平成 22)年には約 400 万人に達し、介護保険制度は高齢期の暮らしを支える社会保障制度の中核として、少子高齢社会の日本において必要不可欠な制度となっている(「平成 24 年版 厚生労働白書」第 2 部第 3 章)。従って、社会保障・税一体改革大綱で介護の将来像として、介護職員の処遇を改善し、キャリアパスを確立することにより、介護に必要な労働力が安定的に確保され、介護職員が誇りを持って仕事に取り組むことができるようにすることとされている。

社会保障給付の人的側面に関わるこのような政策課題に対する課題解決の検討に資するエビデンスを得るために、本研究事業の目的に即して、医療介護サービス提供に関わる専門職者を対象にアンケート調査を実施した。具体的には、専門職者として病院勤務医と介護労働者(及び介護労働経験者—介護労働経験し離職した者—を含む)を取り上げて調査を実施した。平成 23 年度に「医師(勤務医)の就業環境と就業意識に関する調査」を実施した(調査期間は平成 24 年 3 月)。そして、平成 24 年度に「介護労働者の就業・離職状況と意識に関するアンケート調査」を実施した(調査期間は平成 25 年 3 月)。

「医師(勤務医)の就業環境と就業意識に関する調査」の主要調査項目は次の通りである。

- ・勤務施設の種別、主たる診療科、勤務施設の種別、勤務年数、現在の病院での職位。
- ・労働条件：1 か月当たり勤務日数、夜間当直日数、当直 1 回当たり時間など。
- ・勤務先は救急指定病院かいなか。
- ・勤務する病院の周り(同じ医療圏)で半年内に病院の廃院、休院があったかいなか。

\* 国立社会保障・人口問題研究所社会保障基礎理論研究部長

\*\* 群馬大学大学院教育学研究科准教授

- 廃院、休院の影響（勤務する病院での患者の増加など）。
- ・患者増加の勤務先での医療の質に悪い影響があるかどうかの意識。
  - ・現在の仕事の負荷（労働時間、仕事の内容面で）が1割程度増えた場合に対する希望報酬。職場改善策の希望。

「介護労働者の就業・離職状況と意識に関するアンケート調査」の主要調査項目は次の通りである。

- ・介護労働者の属性：性別、年齢、居住地域（都道府県）、世帯構成、就業状況、就業形態、学歴、収入、離職・転職経験の有無に関する項目など。
- ・介護労働経験者で調査時点に介護労働ではない仕事に就いている人の属性：性別、年齢、居住地域（都道府県）、世帯構成、就業状況、就業形態、学歴、収入、離職・転職経験の有無、離職・転職の理由に関する項目など。

調査方法は、モニター抽出サンプルに対する調査であり、調査実施及び集計作業においては、財団法人日本情報処理開発協会の「プライバシーマーク使用許諾事業者」の条件を満たす調査専門機関に業務委託し、個人情報保護のための対応を厳重かつ十分に行うこととした。

## 2. 「医師（勤務医）の就業環境と就業意識に関する調査」の結果（概要）

勤務医を対象に行ったアンケート調査（平成23年度、有効回答784名）によると、病院の廃院・休院が起これると、同じ医療圏の病院の勤務医の約50%で労働時間が増え、労働時間が増えた勤務医では、看護師の高度専門家や医療事務スタッフの充実を望む割合が60%以上に達することがわかった。

表 勤め先周辺の病院の廃院・休院の影響

		(度数)				
		ここ半年以内で、勤め先病院での実労働時間は増えたかどうか				
		小計	増えた	変わらない	減った	
全サンプル数:528		意識:不安を感じる				
ここ半年以内で、勤め先病院と同じ医療圏の病院の廃院、休院があった	あった	小計	107	50	51	6
		まったくなかった	17	7	9	1
		たまにあった	55	25	27	3
		ときどきあった	21	8	11	2
		しばしばあった	10	7	3	0
	大体いつもあった	4	3	1	0	
	無い	小計	421	124	280	17
		まったくなかった	98	17	70	6
		たまにあった	195	62	126	7
		ときどきあった	98	34	60	4
しばしばあった		27	10	17	0	
大体いつもあった	8	1	7	0		

出所：「医師（勤務医）の就業環境と就業意識に関する調査」に基づき筆者作成

表 勤め先周辺の病院の廃院・休院の影響(2)

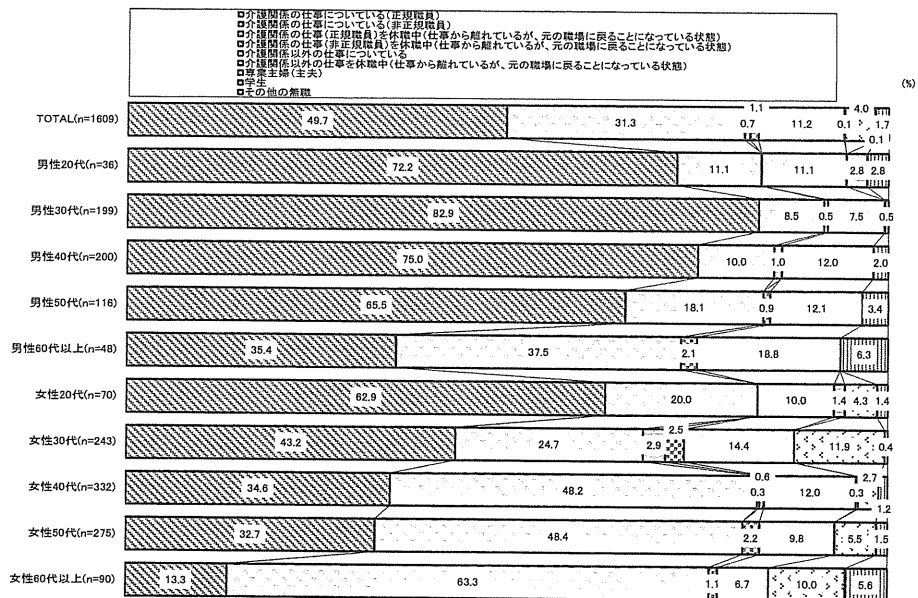
職場改善策の希望		医療事務スタッフの充実						
		小計	是非希望する	やや希望する	どちらともいえない	あまり希望しない	全く希望しない	
全サンプル数:745		看護師の高度専門化						
[Q16] Q16 ここ半年以内で、現在あなたの勤めている病院での実労働時間は増えましたか。(回答は1つ)	増えた (33.7%)	小計	254	117	88	32	14	3
		是非希望する	54	42	9	1	2	0
		やや希望する	98	43	44	10	1	0
		どちらともいえない	67	20	28	19	0	0
		あまり希望しない	22	6	5	0	10	1
		全く希望しない	13	6	2	2	1	2
	変わらない (66.3%)	わからない	0	0	0	0	0	0
		小計	491	148	212	96	28	7
		是非希望する	52	39	10	2	1	0
		やや希望する	213	64	116	26	7	0
	どちらともいえない	167	32	68	60	6	0	
	あまり希望しない	47	11	15	7	13	0	
	全く希望しない	14	2	3	1	1	7	
	わからない	6	0	0	0	0	0	

出所：「医師（勤務医）の就業環境と就業意識に関する調査」に基づき筆者作成

### 3. 「介護労働者の就業・離職状況と意識に関するアンケート調査」の結果（概要）

介護労働者を対象に行ったアンケート調査（平成23年度、有効回答1609名）によると、正規労働者である割合は男性の方が女性より高く、非正規職員の割合は女性の方が高い。

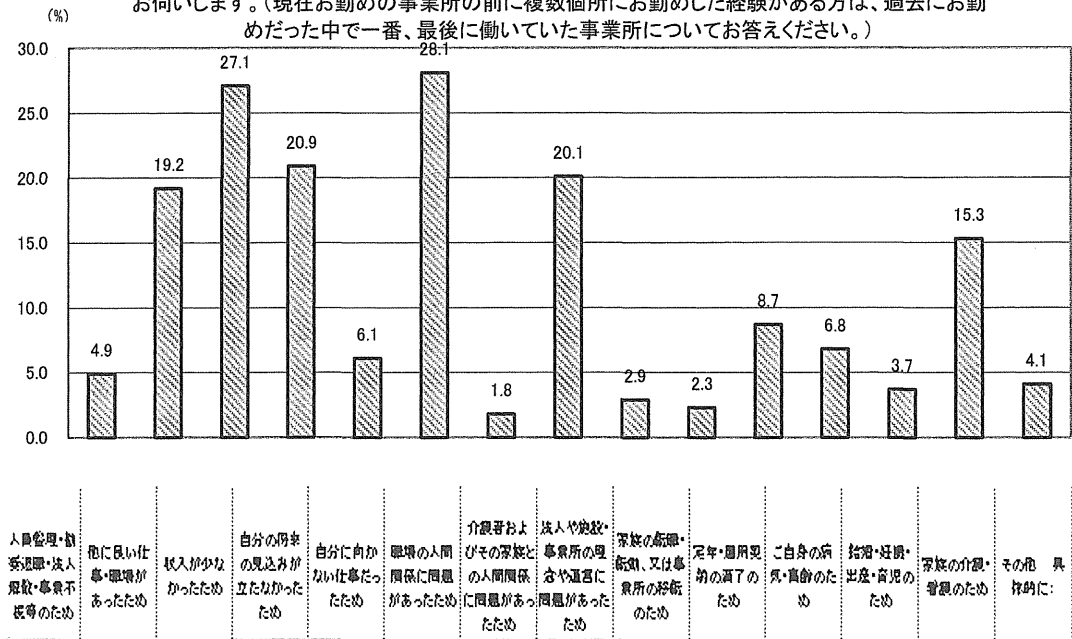
Q3 あなたは、現在、介護関係のお仕事についていますか。(回答は1つ)  
【答例】・性・年代



出所：「介護労働者の就業・離職状況と意識に関するアンケート」に基づき筆者作成

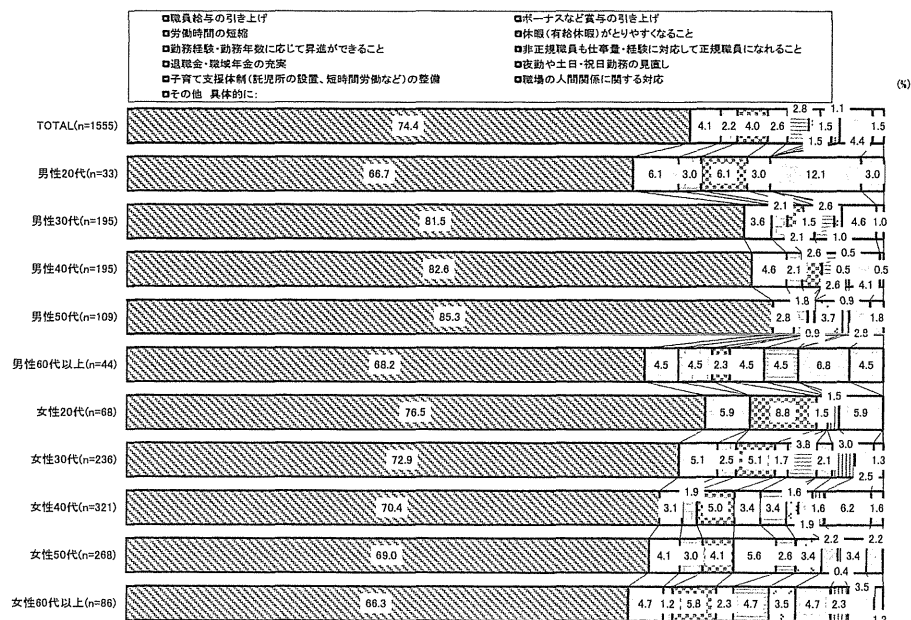
回答者のうち介護労働の経験があり離職した人について、前職の介護事業所を辞めた理由をみると、収入が少なかったことと職場の人間関係で問題があったことの割合が高い。収入が少なかったこと続いて、さらに他によい仕事があったことの割合も高いため、介護労働者の定着のためには労働条件の改善が課題であることがわかる。労働条件の改善として希望する条件を比較してみると、給与の引き上げを希望する割合が最も高く、ついで休暇の取得や夜勤当直の縮小など労働時間の改善を希望する割合が高い。これに続いて、職場の人間関係の改善を希望する割合も高い。したがって、介護労働者の定着のためには、収入と労働時間という労働条件のうちの基本的な条件の改善をまずはかり、ついで職場の人間関係の改善というメンタル面での職場環境改善を図ることが重要であると考えられる。

Q44 あなたが以前働いていた介護事業所を辞めた理由は次のどれですか。あてはまるものすべてをお選びください。(回答はいくつでも)引き続き以前働いていた介護事業所でのお仕事についてお伺いします。(現在お勤めの事業所の前に複数個所にお勤めした経験がある方は、過去にお勤めだった中で一番、最後に働いていた事業所についてお答えください。)



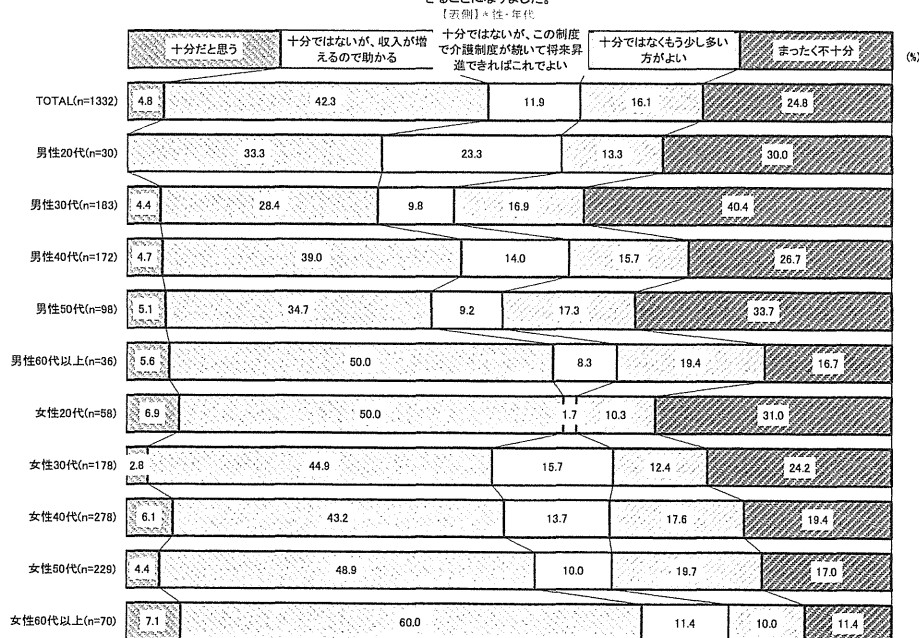
出所：「介護労働者の就業・離職状況と意識に関するアンケート」に基づき筆者作成

Q54 介護にかかわる職員の待遇がよくなるにはどのような待遇改善があると思いますか。重要だと思ふ改善策の1位、2位まで選択してください。(回答はタテの列ごとに1つずつ) 1位  
【表例】・性・年代



出所：「介護労働者の就業・離職状況と意識に関するアンケート」に基づき筆者作成

Q58 介護に関わるお仕事をしていらっしゃる立場から、この加算はどのように評価できますか。(回答は1つ)介護に関わる職員の待遇改善の一例として、介護報酬制度で介護職員の給与水準を改定することがあります。この制度で、平成24年4月から給与を月額1万5千円程度引き上げる「処遇改善加算」ができることになりました。



出所：「介護労働者の就業・離職状況と意識に関するアンケート」に基づき筆者作成

介護に関わる職員の待遇改善の一例として、介護報酬制度で介護職員の給与水準を改定することがあり、この制度の一環として、平成 24 年 4 月から給与を月額 1 万 5 千円程度引き上げる「処遇改善加算」ができることになった。労働条件の改善で収入の改善を希望する割合が高いことを考慮して、この給与水準加算に対する評価をみると、男女間で差がある。男性では、この加算を十分だと思うと十分ではないが収入が増えるので助かるという肯定的評価をする割合は年齢別で 30～40%の範囲にあるのに対して、十分ではないなど肯定的でない評価の割合が 50%以上になる。これに対して、女性では、この加算を十分だと思うと十分ではないが収入が増えるので助かるという肯定的評価をする割合は年齢別で 50%以上の範囲にあり、この加算に対して肯定的評価をしていることがわかる。確かに、女性では、肯定的評価の割合が高いといっても、就業形態と賃金それぞれで男女間格差があることに留意する必要がある。しかし、男性でも 30～40%の範囲の割合で、女性では 50%以上の割合で、平成 24 年度に始まった「処遇改善加算」が肯定的に受け止められていることは、この制度改革の意義を示していると考えられる。

12. 付録
医師(勤務医)の就業環境と就業意識に関する調査 調査票
(厚生労働科学研究費補助金(政策科学推進研究事業))
「社会保障給付の人的側面と社会保障財政の在り方に関する研究」(研究代表者 金子能宏)
平成23年度実施
Q1.1 あなたの年齢をお答えください。(回答は半角数字で入力)最初にあなたご自身のことについてお伺いします。
Q1.2 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)
男性 女性
Q2 あなたが医師資格を取ってからの年数を以下の中から選んでください。(回答は1つ)
5年未満 5～10年未満 10～15年未満 15～20年未満
20～25年未満 25～30年未満 30～35年未満 35～40年未満 40年以上
Q3 あなたは医学博士号を取得されていますか。(回答は1つ)
はい いいえ
Q4 あなたは学会の専門医資格を取得されていますか。(回答は1つ)
はい いいえ
Q5 あなたの主たる診療科をお選びください。(回答は1つ)
一般・総合系(一般内科、家庭医療、総合診療、地域医療など)
消化器内科
循環器内科
呼吸器内科
感染症科
内分泌内科
代謝内科
糖尿病科
血液内科
腫瘍内科
腎臓内科
神経内科
膠原病科
アレルギー科
心療内科
リハビリテーション科
小児科
一般外科
消化器外科
呼吸器外科
心臓血管外科
乳腺外科
内分泌外科
人工臓器・移植外科
小児外科
整形外科
リウマチ科
泌尿器科
脳神経外科
産婦人科
形成外科
麻酔科
集中治療科
救命救急科
ペインクリニック
緩和医療科
眼科
皮膚科
耳鼻咽喉科
放射線科
精神神経科
その他 具体的に:



Q6 あなたの現在の病院での職位をお選びください。(回答は1つ)
院長 副院長 部長 科長 医員 研修医
その他 具体的に:
Q7 あなたの主たる勤務施設の種別をお選びください。(回答は1つ)【あなたの主たる勤務施設についてお伺い致します。】
医院・診療所・クリニック 大学病院 公立病院(都道府県立、市町村立等) 民間病院
その他 具体的に:
Q8 あなたの主たる勤務先の病床規模をお選びください。(回答は1つ)
100床未満 100床～300床未満 300床以上
Q9 あなたの主たる勤務先は救急指定病院ですか。以下の中からあてはまる項目をお選びください。(回答は1つ)
一次救急病院である 二次救急病院である 三次救急病院である いずれでもない
Q10 あなたの主たる勤務先では、患者の紹介、情報共有等で決まった他の病院との連携がおこなわれていますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(回答はいくつでも)
他の医院・診療所・クリニックと連携している
他の大学病院と連携している
他の公立病院(都道府県立、市町村立等)と連携している
他の民間病院と連携している
その他 具体的に:
特に他施設と連携はしていない
わからない
Q11 ここ半年以内で、あなたが現在お勤めの病院周り(同じ医療圏)の病院の廃院、休院はありましたか。(回答は1つ)
あった 無い わからない
SQ11 廃院、休院した病院に、あなたが現在お勤めと同じ診療科がありましたか。(回答は1つ)
あった 無い わからない
Q12 ここ半年以内で、現在あなたの勤めている病院の来院患者数は増えましたか。(回答は1つ)
継続的に増えている 一時的に増えている 変わらない 一時的に減っている 継続的に減っている わからない
SQ12 患者が増えたことで、現在の病(医)院における医療の質に悪い影響があるとお考えですか。(回答は1つ)
全く影響はない あまり影響はない どちらともいえない やや影響がある 大いに影響がある
Q13 あなたが勤務する診療科の常勤医師数は何人ですか。(回答は半角数字で入力)【あなたの勤務状況についておうかがいします。】
医師スタッフ*人
Q14 あなたの日常業務において会話のある(医師以外の)スタッフの数はおよそ何人ですか。看護師(准看護師を含む)とその他のスタッフに分けてお答えください。(回答は半角数字で入力)
看護師(准看護師を含む)*人 その他のスタッフ*人
Q15 以下の項目について、あなたが現在主にお勤めの病院についてお知らせください。
1か月当たりの勤務日数*日
1か月平均の夜間当直日数*日
当直1回当たりの勤務時間 平均*時間
1日平均の実労働時間*時間
分(当直は除く)
実労働時間の内訳 合計 100%
外来診療*% 病棟診療*% 在宅診療*% 手術*% 検査*% 会議・事務作業等*% 研究・研修等*% その他*%
1日当たり仕事のためにパソコン画面を見ている時間 平均*時間(分)
1日当たり休憩時間 平均*時間
1か月当たりの休日日数*日
自分の勉強のための時間
1週間に*時間(分) 1日平均*時間(分)
Q16 ここ半年以内で、現在あなたの勤めている病院での実労働時間は増えましたか。(回答は1つ)
増えた 変わらない 減った
SQ16 1日当たりどの位増えましたか。(回答は半角数字で入力)
1日当たり平均*時間 分位増えた
Q17 あなたは、現在の労働時間についてどのようにお考えですか。次の中からあなたのお考えに最も近い意見をお選びください。(回答は1つ)
現状で特に不満はない
現在より、10%以上減らして欲しい
現在より、10%くらい減らして欲しい
現在より、10%くらい増えてもよい
現在より、10%以上増えてもよい

Q18 その際に、給与については、どれくらいを望まれますか。次の中からあなたのお考えに最も近い意見をお選びください。(回答は1つ) <前問Q17の回答を前提にお聞きします。>
現状で特に不満はない
現在より、10%以上減らしてもよい
現在より、10%くらい減らしてもよい
現在より、10%くらい増やして欲しい
現在より、10%以上増やして欲しい
Q19 あなたは、現在の仕事の負荷(労働時間、仕事の内容面で)が1割程度増えた場合、それに対する報酬をどの位求めますか。次の中からあなたのお考えに最も近い意見を選んでください。(回答は1つ) <仕事の負荷と給与についておうかがい現状の給与のままで良い
1割未満でも上がればよい
1~2割未満上がればよい
2~3割未満上がればよい
3割以上がればよい
仕事の負荷が増えるのは受け入れられない
Q20 あなたは、以下に挙げる職場改善策に関しまして、現在主にお勤めの病院で実施されることをどの程度希望していますか。(回答は横の行ごとに1つずつ)
医療事務スタッフの充実
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
看護師の高度専門化
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
休憩時間の拡充
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
医師の休日の取得強化
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
医療事故が起きた場合の組織的対応力強化
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
医師の研究・研修時間の増加
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
医師の育児休暇取得強化
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
育児期間中のフレックス勤務を認める
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
患者とのトラブルがあった場合の組織的・専門的対応力強化
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
医師の報酬の引き上げ
是非希望する やや希望する どちらともいえない あまり希望しない 全く希望しない 全く希望しない
わからない
Q21 医師の待遇改善策として、次の項目の中から、あなたが望まれるものを3つまでお選びください。最も望まれる順に1位~3位までお答えください。(回答は縦の列ごとに1つずつ)
1位
給与の引き上げ
ボーナスの引き上げ
労働時間の短縮
休暇を取りやすくする
残業時間に手当をつける
移動時間を労働時間と認める
移動手当ての導入
業務経験に応じた昇進評価
勤務年数に応じた昇進評価
能力や仕事ぶりに応じた評価の実施
退職金・職域年金の充実
特に望むものは無い

2位
給与の引き上げ
ボーナスの引き上げ
労働時間の短縮
休暇を取りやすくする
残業時間に手当をつける
移動時間を労働時間と認める
移動手当の導入
業務経験に応じた昇進評価
勤務年数に応じた昇進評価
能力や仕事ぶりに応じた評価の実施
退職金・職域年金の充実
特に望むものは無い
3位
給与の引き上げ
ボーナスの引き上げ
労働時間の短縮
休暇を取りやすくする
残業時間に手当をつける
移動時間を労働時間と認める
移動手当の導入
業務経験に応じた昇進評価
勤務年数に応じた昇進評価
能力や仕事ぶりに応じた評価の実施
退職金・職域年金の充実
特に望むものは無い
Q22 (1) 現在の勤務先の医療機関(回答は半角数字で入力)Q22 あなたの主たる勤務先における勤続年数についてお答えください。
年  月
(2) (1)の直前に勤務していた医療機関(回答は1つ)
なし
あり(以下に詳細をお答えください)
(1)の直前に勤務していた医療機関ありの場合の勤続年数
年  月
(3) (2)の直前に勤務していた医療機関(回答は1つ)
なし
あり(以下に詳細をお答えください)
(2)の直前に勤務していた医療機関ありの場合の勤続年数
年  月
Q23 あなたの年収を下記から該当するものを選んでください。(回答は1つ)
100万円未満 100～200万円未満 200～400万円未満 400～600万円未満 600～800万円未満 800～1,000万円未満
1,000～1,200万円未満 1,200～1,400万円未満 1,400～1,600万円未満 1,600～1,800万円未満 1,800～2,000万円未満
2,000～2,200万円未満 2,200～2,400万円未満 2,400～2,600万円未満 2,600～2,800万円未満 2,800～3,000万円未満
3,000万円以上
答えたくない
Q24 最近の診療報酬改定では、診療報酬の新たな財源の大半を病院勤務医に充てるという方向で改定がおこなわれましたが、あなたはこの改定をどのように評価しますか。(回答は1つ)医療保険制度における診療報酬の配分見直しについてご意見をおうかがいします。
十分であると評価する
十分ではないが、評価する
どちらともいえない
一部評価するが、全体として不十分
全く不十分
わからない
Q24_2 そのようにお考えの理由をお答えください。
Q25 今回の医療制度改革には、診療報酬・介護報酬の同時改定が大きな柱と考えられます。そのためには新たな財源の確保が必要となりますが、財源確保の方法について次の中からあなたのお考えに最も近い意見をお選びください。(回答は医療・介護の財源確保のためには、消費税のような税金を増やし、国民全体で負担するのがよい
医療・介護の財源確保のためには、医療・介護の社会保険料を増やし、主に現役世代で負担するのがよい
医療・介護の財源確保のためには、利用者負担を増やして、医療・介護サービスを受ける人達で負担するのがよい
医療・介護の財源確保のためには、当面は国が財政赤字を出して、その後国民全体で負担するのがよい
医療・介護に関わる医師や関連する職員の待遇は現状のままで、国民全体の負担が増えない方がよい
その他 具体的に:
特に意見は無い わからない

Q26 あなたは現在お勤めの病院から転職したいとお考えですか。職場環境が現状のままの場合と、希望する職場環境改善ができると想定した場合、また、あなたの就業状況が現在のままで、あなたの収入が以下のような場合、それぞれについてあなたのお考えをお選びください。(回答は横の行ごとに1つずつ)
職場環境が現状のままの場合
転職したいと思う やや転職したいと思う どちらともいえない あまり転職したいと思わない 転職したいと思わない
希望する職場環境改善ができると想定した場合
転職したいと思う やや転職したいと思う どちらともいえない あまり転職したいと思わない 転職したいと思わない
収入が10%以上減った場合
転職したいと思う やや転職したいと思う どちらともいえない あまり転職したいと思わない 転職したいと思わない
収入が10%程度減った場合
転職したいと思う やや転職したいと思う どちらともいえない あまり転職したいと思わない 転職したいと思わない
収入が現状の場合
転職したいと思う やや転職したいと思う どちらともいえない あまり転職したいと思わない 転職したいと思わない
収入が10%程度増えた場合
転職したいと思う やや転職したいと思う どちらともいえない あまり転職したいと思わない 転職したいと思わない
収入が10%以上増えた場合
転職したいと思う やや転職したいと思う どちらともいえない あまり転職したいと思わない 転職したいと思わない
Q27 あなたは結婚されていますか。(回答は1つ)【あなたの心身の健康状態についてうかがいます。】
はい いいえ
Q28 お子様はいらっしゃるでしょうか。(回答は1つ)
はい いいえ
Q29 以下の項目について、あなた自身に関してお知らせください。(回答は半角数字で入力)
睡眠時間 1日当たり平均*時間 分
食事の回数 1日当たり*回
Q30 煙草は吸われますか。(回答は1つ)
吸っている 禁煙した 喫煙したことがない
Q31 お酒は飲まれますか。(回答は1つ)
飲んでいる 禁酒した たまに付き合いで飲む程度(月数回程度)
全く飲まない
Q32 以下のそれぞれの項目について、診察やお仕事と関連して、あなた自身に「あてはまる」「あてはまらない」をお答えください。(回答は横の行ごとに1つずつ)【職場におけるストレスについてうかがいます。】
私は次々と急いで仕事をこなしていかなければならない
あてはまる あてはまらない
私の働く病院には致命的な病気の患者のための個室が十分にはない
あてはまる あてはまらない
私(の診察・治療)にとっても強く執着する患者がいる
あてはまる あてはまらない
治療がうまくいかないの、患者が私を非難することがある
あてはまる あてはまらない
何人かの患者が同時に危篤になることが起きる
あてはまる あてはまらない
あてはまらない
私は、時として医者に対して攻撃的な患者を診察しなければならない
あてはまる あてはまらない
私がしていることを何でもチェックしたがる患者がいる
あてはまる あてはまらない
私の患者に自分の治療に専念してくれない人がいる
あてはまる あてはまらない
時々、自分の仕事は役に立っているのか自問自答することがある
あてはまる あてはまらない
自分の仕事でたくないことは夜勤である
あてはまる あてはまらない
あてはまらない
患者の家族の中に、私が患者に一番よい治療をしてあげることができないと思っている人がいる
あてはまる あてはまらない
仕事中は、電話が頻繁にかかってくる
あてはまる あてはまらない

私は、同僚の医師が重篤な患者でも特に感情移入せずに治療しているのを時々見かける
あてはまる あてはまらない
自分だけでは決定できないことが多い
あてはまる あてはまらない
私は目上の人・上司からあまり感謝されていない
あてはまる あてはまらない
同僚との間に問題や摩擦がある
あてはまる あてはまらない
患者が涙を流す光景をみると悲しくなる
あてはまる あてはまらない
身内の人から見放されている患者がいる
あてはまる あてはまらない
私の患者の中には、長期間にわたり病状が進行している患者がいる
あてはまる あてはまらない
私は、患者が望んでいる非現実的な治療に対応しなければならない
あてはまる あてはまらない
不治の病を得た患者の子どものことを考えなければならないことが時々ある
あてはまる あてはまらない
Q33 前問で「あてはまる」と回答された項目について、それについてあなたほどの程度ストレスを感じていますか。あてはまる項目をお選びください。(回答は横の行ごとに1つずつ)
私は次々と急いで仕事をこなしていかなければならない
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
私の働く病院には致命的な病気の患者のための個室が十分にはない
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
私(の診察・治療)にとっても強く執着する患者がいる
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
治療がうまくいかないので、患者が私を非難することがある
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
何人かの患者が同時に危篤になることが起きる
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
私は、時として医者に対して攻撃的な患者を診察しなければならない
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
私がしていることを何でもチェックしたがる患者がいる
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
私の患者に自分の治療に専念してくれない人がいる
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
時々、自分の仕事は役に立っているのか自問自答することがある
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
自分の仕事でたくないことは夜勤である
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
患者の家族の中に、私が患者に一番よい治療をしてあげることができないと思っている人がいる
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
仕事中は、電話が頻繁にかかってくる
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
私は、同僚の医師が重篤な患者でも特に感情移入せずに治療しているのを時々見かける
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
自分だけでは決定できないことが多い
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
私は目上の人・上司からあまり感謝されていない
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
同僚との間に問題や摩擦がある
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
患者が涙を流す光景をみると悲しくなる
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
身内の人から見放されている患者がいる
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
私の患者の中には、長期間にわたり病状が進行している患者がいる
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
私は、患者が望んでいる非現実的な治療に対応しなければならない
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた
不治の病を得た患者の子どものことを考えなければならないことが時々ある
ほんの少し感じた 少し感じた 感じた 強く感じた 非常に強く感じた

Q34 次にあげたお気持ちや状態をどのくらい経験していますか(経験しましたか)。あてはまる項目をお選びください。(回答は横の行ごとに1つずつ)最後に、現在のあなたのお気持ちや状態についてお伺いします。

はつらつとした気分である	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
体がだるい	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
ゆううつだ	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
腹が立つ	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
気分が沈む	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
軽快な気分だ	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
脱力感がある	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
びくびくしている	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
気分がのっている	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
いつもより動作が鈍い	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
気がめいる	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
気が動転している	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
不安を感じる	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
不機嫌である	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
悲しい	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
気持ちが落ち着かない	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
眠れない	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
いらいらする	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
さみしい気持ちになる	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
心配な気持ちになる	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
むしゃくしゃする	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
むなしい感じがする	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
おこりっぽい	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
気力に満ちている	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
いつもより寝起きが悪い	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
恐怖感がある	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった
怒りを感じることもある	まったくなかった	たまにあった	ときどきあった	しばしばあった	大体いつもあった

## 12. 付録

介護労働者の就業・離職状況と就業意識に関する調査 調査票  
(厚生労働科学研究費補助金(政策科学推進研究事業))  
「社会保障給付の人的側面と社会保障財政の在り方に関する研究」(研究代表者 金子能宏)  
平成24年度実施

あなたの性別をお答えください

(回答は1つ)

男性

女性

あなたの年齢をお答えください

(回答は半角数字で入力)

( ) 才

あなたは、現在、介護関係のお仕事についていますか。

(回答は1つ)

介護関係

介護関係の仕事についている(正規職員)

介護関係の仕事についている(非正規職員)

介護関係の仕事(正規職員)を休職中(仕事から離れているが、元の職場に戻ることにしている状態)

介護関係の仕事(非正規職員)を休職中(仕事から離れているが、元の職場に戻ることにしている状態)

介護関係以外

介護関係以外の仕事についている

介護関係以外の仕事を休職中(仕事から離れているが、元の職場に戻ることにしている状態)

専業主婦(主夫)

学生

その他の無職

<< 1ページ終了 >>

---

介護関係のお仕事についている方におたずねします。

お仕事は、次のどれにあたりますか。複数あれば主なものをお答えください。

(回答は1つ)

ホームヘルパー

介護福祉士

社会福祉士

ケアマネジャー

介護関連事務

その他の介護関連

<< 2ページ終了 >>

---

休職理由は何ですか。

(回答は1つ)

出産・育児休業

介護休業

病気休業

その他 具体的に:( )

<< 3ページ終了 >>

---

あなたは以前、介護関係のお仕事についていたことがありますか。

ただし、学生時代のアルバイト、実習、ボランティアは含めないでください。

(回答はいくつでも)

ホームヘルパー

介護福祉士

社会福祉士

ケアマネジャー

介護関連事務

その他の介護関連

介護関連の仕事にはついていたことがない

<< 4ページ終了 >>

---

あなたは介護関係のお仕事で、通算してどのくらい働きましたか。経験した全ての事業所についてお答えください。

ただし、学生時代のアルバイト、実習、ボランティアの期間は含めないでください。

※1年未満の方は年数に0と入力してください。

通算( )年( )か月(2012年3月現在)

介護関係のお仕事で、何回、転職をしたことがありますか。ただし、同一法人内での配置転換、法人の合併、営業譲渡等は回数に含めないでください。転職をしたことがない方は0と答えてください。

(回答は半角数字で入力)

( )回 ※介護関連での転職がない場合は「0」を入力してください。

<< 5ページ終了 >>

あなたは、現在のお勤め先にいつから勤めていますか。

介護職に従事されていて複数お勤めの方は、主な介護職についてお答えください。

介護以外のお仕事で複数のお仕事がある方は、主なお仕事についてお答えください。

休職中の方は、勤めていた状況をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

西暦( )年( )月～2012年3月

先月の2月の労働時間は、1日あたりどのくらいでしたか。残業時間も含めた平均的な1日の労働時間をお答えください。お昼休みなどの休憩時間も含めてください。

介護職に従事されていて複数お勤めの方は、主な介護職についてお答えください。

介護以外のお仕事で複数のお仕事がある方は、主なお仕事についてお答えください。

休職中の方は、2月に限らず在職時の平均をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

※1時間未満の方は時間に0と入力してください。

1日に( )時間( )分

先月の2月の残業時間についておたずねします。1週間に何時間くらいありましたか。

介護職に従事されていて複数お勤めの方は、主な介護職についてお答えください。

介護以外のお仕事で複数のお仕事がある方は、主なお仕事についてお答えください。

休職中の方は、2月に限らず在職時の平均をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

※1時間未満の方は時間に0と入力してください。

賃金が出る残業時間 1週間に( )時間( )分

賃金が出ない残業時間 1週間に( )時間( )分

お勤め先までの通勤時間は、片道でどのくらいかかりますか。

介護職に従事されていて複数お勤めの方は、主な介護職についてお答えください。

介護以外のお仕事で複数のお仕事がある方は、主なお仕事についてお答えください。

休職中の方は、勤めていた状況をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

片道( )分

先月の2月の勤務日数についておたずねします。1週間あたり平均何日勤務されましたか。

介護職に従事されていて複数お勤めの方は、主な介護職についてお答えください。

介護以外のお仕事で複数のお仕事がある方は、主なお仕事についてお答えください。

休職中の方は、2月に限らず在職時の平均をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

1週間に平均( )日

あなたの仕事の給与は、どのように決められていますか。

介護職に従事されていて複数お勤めの方は、主な介護職についてお答えください。

介護以外のお仕事で複数のお仕事がある方は、主なお仕事についてお答えください。

休職中の方は、勤めていた状況をお答えください。

(回答は1つ)

月給

週給

日給

時給

その他 具体的に:( )



<< 6ページ終了 >>

あなたの時給(週給、日給)はおいくらになりますか。また、あなたご自身が考える、そのお仕事の妥当な時給(週給、日給)はおいくらだと思いますか。

介護職に従事されていて複数お勤めの方は、主な介護職についてお答えください。

介護以外のお仕事で複数のお仕事がある方は、主なお仕事についてお答えください。

休職中の方は、勤めていた状況をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

実際の額 時給(週給、日給)税込( )円

妥当と考える額 時給(週給、日給)税込( )円

<< 7ページ終了 >>

先月の2月の1か月間でいくぐらいこの仕事から収入を得ましたか。また、行った仕事に対しては、どの位の収入を得られるのが妥当だと考えますか。

介護職に従事されていて複数お勤めの方は、主な介護職についてお答えください。

介護以外のお仕事で複数のお仕事がある方は、主なお仕事についてお答えください。

休職中の方は、2月に限らず在職時の平均をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

実際の額 月額税込( )円

妥当と考える額 月額税込( )円

今の事業所に就職した際、家族や知人の勧めや紹介がありましたか。

介護職に従事されていて複数お勤めの方は、主な介護職についてお答えください。

介護以外のお仕事で複数のお仕事がある方は、主なお仕事についてお答えください。

休職中の方は、勤めていた状況をお答えください。

(回答は1つ)

あった

なかった

<< 8ページ終了 >>

あなたが働いている事業所の法人格(経営主体)はどれですか。

複数の介護事業所にお勤めの方は、主な事業所についてお答えください。

(回答は1つ)

民間企業(個人・株式会社・有限会社)

社会福祉協議会

社会福祉協議会以外の社会福祉法人

医療法人

NPO(特定非営利活動法人)

社団法人・財団法人

協同組合(農協、生協)

地方自治体(市区町村、広域連合を含む)

その他 具体的に:( )

あなたが働いている事業所の従業員数は何人ですか。企業全体の従業員数ではなく、お勤めの事業所の従業員数をお答えください。

(正規職員以外のパート・登録職員、登録ヘルパー等を含む数でお答えください。ただし、臨時職員(急な仕事のために臨時に雇用される人)は除きます。)

複数の介護事業所にお勤めの方は、主な事業所についてお答えください。

(回答は1つ)

50人以下

1～5人

6～10人

11～15人

16～20人

21～25人

26～30人

31～35人

36～40人

41～45人

46～50人

51人以上

51～55人

56～60人

61～65人

66～70人

71～75人

76～80人  
81～85人  
86～90人  
91～95人  
96～100人  
101人以上  
わからない

あなたが働いている事業所の主な介護サービスの種類は次のうちどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。

複数の介護事業所にお勤めの方は、主な事業所についてお答えください。

(回答はいくつでも)

訪問介護  
訪問入浴介護  
訪問看護  
訪問リハビリテーション  
居宅療養管理指導  
通所介護  
通所リハビリテーション  
短期入所生活介護  
短期入所療養介護  
特定施設入居者生活介護  
福祉用具貸与・特定福祉用具販売  
居宅介護支援  
夜間対応型訪問介護  
認知症対応型通所介護  
小規模多機能型居宅介護  
認知症対応型共同生活介護  
地域密着型特定施設入居者生活介護  
地域密着型介護老人福祉施設  
介護老人福祉施設  
介護老人保健施設  
介護療養型医療施設  
介護保険以外のサービス  
その他 具体的に:( )

あなたは現在、お仕事でどのような業務を担当されていますか。全体を100%としたときに、次の4つの業務がそれぞれどのくらいになるか、その割合を「整数」で入力してください。担当されていない業務は「0」としてください。

複数の介護事業所にお勤めの方は、主な事業所についてお答えください。

(回答は半角数字で入力)

身体介護( )%  
生活介護( )%  
管理・デスクワーク( )%  
その他( )%

<< 9ページ終了 >>

あなたの勤務形態はどのように定められていますか。

複数の介護事業所にお勤めの方は、主な事業所についてお答えください。

(回答は1つ)

常勤労働者(事業所の定める勤務時間全てを勤務する)

短時間労働者(パートタイム)

(1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が常勤労働者より少ないが、労働日及び労働日の労働時間が定型的・固定的に定まっている)

短時間労働者(パートタイム)

(月、週、又は日の労働時間が、一定期間毎に作成される勤務表により非定型的に特定される(登録ヘルパー等))

その他(急な仕事のために臨時に雇用されて勤務している)

<< 10ページ終了 >>

あなたの職位は何ですか。

複数の介護事業所にお勤めの方は、主な事業所についてお答えください。

(注)ここでの管理職とは、例えばサービス提供責任者等のことで、主任・(サブ)リーダーなどを介護の現場で統括している者をいいます。

(回答は1つ)

管理職  
主任・(サブ)リーダーなどの職場のまとめ役  
その他

<< 11ページ終了 >>

あなたが、現在されているお仕事の内容はどれですか。  
複数のお仕事に従事している場合には、主なお仕事についてお答えください。

(回答は1つ)

管理職(会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など)  
専門・技術職(医師、看護師、研究員、教員、保育士、栄養士など)

事務職(一般事務、営業社員、銀行員、テレフォン・オペレーターなど)

販売職(販売員、店員、レジスター係、美容部員など)  
サービス職(家政婦(夫)、理・美容師、調理人、ウエイター・ウエイトレス、エステティシャン、クリーニング師など)

保安職業従事者(警察官、警備員、自衛隊員など)  
農林漁業従事者  
生産工程従事者(製品製造、機械組立・整備従事者など)  
輸送・機械運転従事者(バス運転者、電車運転士、船長、ボイラーオペレーターなど)

建設・採掘作業従事者(大工、左官、土木従業者など)  
運搬・清掃・包装等従事者(配達員、倉庫作業従事者、清掃員など)

自宅で賃仕事(内職)  
その他 具体的に:( )  
あなたが、現在、お仕事をしている事業所の事業内容はどれですか。  
複数のお仕事に従事している場合には、主なお仕事についてお答えください。

(回答は1つ)

土木・建設・不動産・建物サービス  
飲料  
食品・食品加工  
化粧品、トイレットリー製品・ヘアケア製品  
たばこ  
医薬品・健康食品  
家電製品  
自動車・バイク  
その他製造業  
デパート・スーパー  
コンビニエンスストア・その他小売  
運輸・倉庫・物流関連  
電気・ガス・熱供給・水道  
電気通信業  
ソフトウェア、情報処理、その他の情報サービス業  
マスコミ・広告、新聞・放送業  
市場調査  
金融・保険業(銀行・証券・保険・貸金など)  
外食・飲食サービス  
その他サービス  
教育  
医療・福祉  
その他 具体的に:( )  
あなたが現在されているお仕事の内容を具体的に記入ください。

例:病院で看護助手として働いている

デパートで美容部員をしている

飲食店の従業員

(回答は具体的に)

( )

あなたが現在されているお仕事は、採用の際に、介護の資格や経歴が重視されるお仕事ですか。

(回答は1つ)

はい

いいえ

わからない

その仕事の就業形態はどれですか。

複数のお仕事に従事している場合には、主なお仕事についてお答えください。

(回答は1つ)

正社員(正規職員)

パート・アルバイト

派遣社員

契約社員

自営・家族従業者

その他 具体的に:( )

<< 12ページ終了 >>

ここからは以前働いていた介護事業所でのお仕事についてお伺いします。  
(現在お勤めの事業所の前に複数個所にお勤めした経験がある方は、過去にお勤めだった中で一番、最後に働いていた事業所についてお答えください。)

その事業所ではいつからいつまで働いていましたか。

西暦で回答してください。

(回答は半角数字で入力)

西暦( )年( )月から

西暦( )年( )月まで

引続き以前働いていた介護事業所でのお仕事についてお伺いします。

(現在お勤めの事業所の前に複数個所にお勤めした経験がある方は、過去にお勤めだった中で一番、最後に働いていた事業所についてお答えください。)

あなたが以前働いていた介護事業所の法人格(経営主体)はどれでしたか。

(回答は1つ)

民間企業(個人・株式会社・有限会社)

社会福祉協議会

社会福祉協議会以外の社会福祉法人

医療法人

NPO(特定非営利活動法人)

社団法人・財団法人

協同組合(農協、生協)

地方自治体(市区町村、広域連合を含む)

その他 具体的に:( )

あなたが以前働いていた介護事業所の従業員数は何人ですか。企業全体の従業員数ではなく、お勤めの事業所の従業員数をお答えください。

(正規職員以外のパート・登録職員、登録ヘルパー等を含む数でお答えください。ただし、臨時職員(急な仕事のために臨時に雇用される人)は除きます。)

(回答は1つ)

50人以下

1～5人

6～10人

11～15人

16～20人

21～25人

26～30人

31～35人

36～40人

41～45人

46～50人

51人以上

51～55人

56～60人

61～65人

66～70人

71～75人

76～80人

81～85人

86～90人

91～95人

96～100人

101人以上

わからない

引続き以前働いていた介護事業所でのお仕事についてお伺いします。

(現在お勤めの事業所の前に複数個所にお勤めした経験がある方は、過去にお勤めだった中で一番、最後に働いていた事業所についてお答えください。)

あなたが以前働いていた介護事業所の主な介護サービスの種類は次のうちどれでしたか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

(回答はいくつでも)

訪問介護

訪問入浴介護

訪問看護

訪問リハビリテーション

居宅療養管理指導

通所介護